

令和 4 年度

社会福祉法人 大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告

(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 3 1 日)

1 法人運営事業

(1) 社会福祉法人制度改革への対応及び組織の強化

- ① 適正な法人運営（理事会、評議員会の開催）
- ② 透明性の向上（コンプライアンス意識向上、個人情報の保護の徹底）
- ③ 会員組織の拡充（会員組織の拡充、賛助会員の増加）
- ④ その他（感染症対策委員会、個人情報適正委員会の開催）

事業名	時期	内容
理事会	6 月 10 日	事業・決算報告など（12 名出席）
	3 月 14 日	事業計画・予算案など（10 名出席）
評議員会	6 月 28 日	事業・決算報告など（15 名出席）
	3 月 24 日	事業計画・予算案など（14 名出席）
職員研修会	2 月 10 日 2 月 15 日 2 月 21 日 2 月 21 日 3 月 2 日	コンプライアンス研修 (62 名参加)
会員組織	通年	組織構成会員： 26 団体（昨年度 29 団体） 賛助会員：法人 10 団体（昨年度 8 団体）、 個人 32 人（昨年度 30 人）
感染症対策委員会	通年	コロナウイルス感染症拡大防止についてなど(2 回)
個人情報適正委員会	通年	個人情報の取り扱い、セルフチェック表など(3 回)

(2) 善意銀行の運営

- ① 受付・払出（日常的に受付、福祉事業や団体の活動に払出）
- ② 払出先の募集（払出先の募集・審査、適切な助成）

事業名	時期	内容
善意銀行の運営	通年	寄付等受付：9 件、払出：14 団体
運営委員会 (払出部会)	6 月 10 日	収支報告、特定テーマ払出申請団体など（4 名出席）
	12 月 13 日	歳末助け合い運動にかかる助成など（4 名出席）
払出先の助成	通年	「福祉ボランティア活動応援資金」13 団体 区民生委員児童委員協議会

（３）広報・啓発活動「社会福祉協議会活動の見える化」

- ① 情報発信の充実（「区社協だより」の発行、ホームページ、フェイスブック、公式 Line、パンフレットやリーフレットなどを活用）
- ② 区社協の見える化の推進（区社協キャラクター「ふくふく君」を活用した会員募集や事業周知、区社協ユニフォームの活用）
- ③ 社会福祉講演会（映画上映会の開催）

事業名	時期	内容
区社協だより	秋号（10 月）	25,000 部、新聞折り込み・配架・送付 など
	春号（2 月）	25,000 部、新聞折り込み・配架・送付 など
情報発信	通年	ホームページ、フェイスブックの活用
		パンフレット、リーフレットの活用

（４）関係機関等との連携・協力

- ① 共同募金への協力（共同募金運動の広報や啓発、街頭募金活動、配分金の配分）
- ② 日赤業務との連携・協力（社資募集業務に協力）
- ③ 各地域団体との連携・協力（区地域振興会、地域社協委員長会の開催）

事業名	時期	内容
共同募金	通年	共同募金の配分金（1,981,359 円） （配分先：金婚夫婦お祝い品（185 組）、各地域社協、区老人クラブ連合会、区民生委員児童委員協議会、NPO 法人にしよどにこネット、区障がい者地域自立支援協議会、区体育厚生協会、区子ども会育成連絡協議会、OKKO）
		地区募金会事務
		10 月 1 日～12 月 31 日「赤い羽根共同募金運動」街頭募金活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。一般募金実績（3,831,956 円）
日赤活動	通年	社資募集に協力
地域団体活動支援	通年	地域振興会会長会（第 4 水曜日、12 回） 地域社協委員長会（1 回）

2 地域福祉活動支援事業

住民参加協働による福祉活動の充実、福祉コミュニティづくりなど、西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画「ささえあいあいプラン」の推進や地域福祉活動連絡会を開催した。また、小中高校生向けの福祉教育や、災害発生時に備えた訓練（法人内）などに取り組んだ。

（１）地域生活課題の予防・解決に向けた小地域福祉活動の支援

- ① 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進（推進会議、部会、評価委員会の開催）
- ② 地域福祉活動連絡会の開催
- ③ 地域アセスメントデータの整備と活用
- ④ 社会福祉講演会の開催

事業詳細	時期	内容
ささえあいあいプランの推進	通年	・地域福祉推進会議（3 回） ・評価委員会（3 回） ・ちょこっと♡助っ人ポイント事業（部会 6 回） ・～にしよど LOVE～となりのお節介さん～（部会 7 回） ・ウエルカムバンク～ウエルカムな気持ちを届けるバンク～（部会 8 回）

地域福祉活動連絡会の開催	通年 (奇数月)	・5月「3つの避難、3つの備え」 ・7月「食品衛生講習」 ・9月「映画 お終活～熟春！人生、百年時代の過ごし方～」 ・11月「西淀川ささえあいあいプランを知ろう」 ・1月「着任4カ月が考える！～生活支援体制整備事業とは～」 ・3月「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）について」
地域アセスメントデータの整備と活用	通年	HAPPY システムを使い、地域の情報を整備
社会福祉講演会の開催	3月	社会福祉講演会（映画上映会） 「映画 お終活～熟春！人生、百年時代の過ごし方～」 (207人参加)

(2) 参画・協働による地域づくり・場づくり

- ① ボランティア・市民活動の推進（相談・支援、需給・調整、「ボランティア情報誌」の発行、機材やスペースの貸出、助成の案内・申請受付、「ボランティア保険の受付・取り次ぎ」）
 - ・ボランティア・市民活動センターの運営（センターの開放、資・器材の貸与、ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催）
 - ・ボランティアの発掘・育成（ちょいボラおやじの会、保育ボランティアサロン、保育ボランティアセミナー等の開催及び支援、個人ボランティア交流会の開催）
 - ・多様な活動の連携・協働推進（「にしよどリンク（異業種交流会）」「ボラセンGO！連絡会」「ボラセンGO-GO」の開催）
- ② 各種団体・関係機関・施設との連携強化（「社会福祉施設連絡会」「子ども・子育て支援連絡会」「自立支援協議会」等の開催及び参画）

事業詳細		時期	内容
活動推進	登録数	通年	個人：134人（前年度198人） グループ：41グループ（前年度39グループ）
	需給調整	通年	活動希望：27件
	相談支援	通年	電話（43件）、来所（66件）、訪問（16件）
	情報誌	通年	年間：1933部送付
	ボランティア保険	通年	活動保険：97件（前年度68件） 行事保険：148件（前年度67件）
運営委員会		7月4日 10月20日 2月13日	出席：13名、活動報告、活動状況など 出席：9名、活動報告、活動状況など 出席：11名、活動報告、活動状況など

発掘・育成	組織化	通年	ちよいボラおやじの会「定例会」・「趣味の会」(12回) 保育ボランティアサロン (12回)
	養成講座	随時	健康キラリ☆塾 (1回) 個人ボランティア交流会の開催 (1回) 畑の土づくり講座の開催 (1回)
活動支援	センター開放	通年	のべ 286 回利用
	資・器材貸与	通年	輪転機・コピー機などを貸出
連携・協働活動		通年	にしよどリンク (偶数月 6 回) 企画運営会議 (8 回) ボラセン GO! 連絡会 (6 回) ボラセン GO-GO (6 回) ボランティアエキスポ実行委員会及び部会の開催 (13 回)

事業詳細	時期	内容
団体・関係機関等との連携強化	通年	社会福祉施設連絡会：連絡会 3 回 役員会 3 回 自立支援協議会：運営委員会 6 回出席 子ども・子育て支援連絡会：12 回 西淀川こどもネット会議：5 回出席 ドラ☆パンにしよど：実施 8 回 企画運営会議 3 回

(3) 地域における共生をめざした福祉教育の推進

- ① 福祉教育の推進と支援 (小・中・高等学校での福祉体験学習支援)
- ② 認知症の理解促進 (キャラバン・メイト連絡会の開催、「認知症サポーター養成講座」の実施支援)
- ③ 用具等の貸出・払出 (車いすの貸出、寄付物品などの払出)

事業詳細		時期	内容	
福祉教育	淀商業 高等学校	6 月 17 日	3 年生 23 人	アイマスク体験
		6 月 20 日	3 年生 14 人	アイマスク体験
		7 月 12 日	1 年生 20 人	区社協事業説明、施設見学
		7 月 21 日	1 年生 20 人	区社協事業説明、施設見学
		11 月 11 日	3 年生 23 人	認知症サポーター養成講座
		11 月 14 日	3 年生 14 人	認知症サポーター養成講座
	佃中学校	2 月 8 日	2 年生 136 人	車いす体験・当事者の講話
	香簾小学校	11 月 22 日	4 年生 34 人	車いす体験・当事者の講話
	佃西小学校	12 月 1 日	4 年生 89 人	聴覚障がいについての講話
	御幣島小学校	2 月 20 日	5 年生 85 人	車いす体験・当事者の講話
認知症の理解促進		通年	認知症サポーター養成講座（7 回）	
			キャラバン・メイト連絡会（6 回）	

車いすの貸出・払出 食支援	通年	車いすの貸出：86 件 ロックペイント株式会社寄付物品払出：22 件 (トマト、水菜、五目ご飯、筑前煮)
------------------	----	--

(4) 災害発生時における支援体制の強化

- ① 大規模災害時に的確な支援を行うための災害対策の推進
- ② 防災対策委員会の実施（法人内）
- ③ 災害対策本部設置訓練の実施

事業詳細	時期	内容
大規模災害時に的確な支援を行うための災害対策の推進	通年	備蓄品の整理と購入
災害対策委員会の実施（法人内）	7 月 29 日 11 月 8 日	要綱改訂、動員編成表の更新、グループLINE等連絡方法の検討、災害訓練の打ち合わせ等
区社協災害対策本部設置訓練	11 月 24 日	災害発生時の初動対応、ニーズ受付訓練等

3 要援護者の見守りネットワーク強化事業

福祉専門職の「見守り支援ネットワーカー」と、各地域に配置する「地域福祉活動支援コーディネーター※」が連携し、支援を要する世帯の早期発見、早期支援のための、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの構築を支援した。

※「地域福祉活動支援コーディネーター」とは、地域で孤立する要援護者（高齢者や障がい者など）を地域で把握し、地域での見守り支援や専門機関への橋渡しを行うことを目的に各地域に配置。

(1) 要援護者支援の充実

- ① 要援護者情報の集約・提供…行政が保有する要援護者情報を集約し、地域団体等への情報提供にかかる同意確認を進め、地域の見守り活動等につないだ。また、地域の実態を反映した要援護者名簿の整備を進め、各地域に名簿提供及び更新をしたうえで、地域住民が主体となる見守り活動（見守りネット倶楽部）を支援した。
- ② 援護が必要な人の発掘・つなぎ…支援が必要にもかかわらず、福祉サービスや地域における見守り活動等の支援を受けていない人や制度の狭間で専門的な対応が必要な孤立世帯等に対して、「見守り支援ネットワーカー」が積極的に向き、支援のニーズに応じて適切な関係先と調整し、福祉サ

ービスや地域の見守り活動等につないだ。

- ③ 認知症高齢者見守りネットワークの構築…認知症高齢者等の行方不明時の早期発見、保護のための仕組みとして、認知症事前登録及び協力者へ「発見メール」を配信した。

事業名	時期	内容
要援護者情報の集約・更新	通年	見守り支援ネットワーク（2名配置）
		地域福祉活動支援コーディネーター（12名配置）
	2月～3月	同意確認（郵送 852 件・回答数 495 件・同意 314 件） （訪問 391 件・回答数 230 件・同意 152 件）
	通年	要援護者名簿の整備及び名簿提供の更新
援護が必要な人の発掘・つなぎ	通年	見守り支援ネットワーク及びコーディネーターによるアウトリーチ （訪問 193 件・電話 515 件・来所 98 件・その他 28 件）
認知症高齢者見守りネットワークの構築	通年	事前登録者：227 名 協力者（メール配信先）：150 件 配信依頼件数：2 件（発見件数：2 件） 見守り声かけ訓練（協力者連絡会）1 回
事業周知	通年	見守り相談室映画上映会 1 回 地域のサロン等での周知 18 回

（２）多様化する生活課題・福祉課題への対応

- ① 包括的・重層的な相談支援の強化…住民の抱える多様な困りごとを受け止め、適切なサービスにつなぐことができるよう、地域及び専門職との連携を強化した。
- ② 「見守りネット倶楽部」の推進・地域福祉の担い手の育成…高齢者や障がい者など、支援を必要とする人を地域でゆるやかに見守ることができるよう、「見守りネット倶楽部」の構築を支援した。

事業名	時期	内容
相談支援体制の強化	通年	地域福祉活動連絡会、安心安全連絡会、総合相談連絡会、包括地域ケア会議等への出席に～よんサロンの開催（多職種との協働開催）
見守りネット倶楽部サポーター会議等への出席	通年	野里地域 1 回、香簗地域 2 回、竹島地域 2 回、大野百島地域 1 回、

4 生活支援体制整備事業

介護予防・フレイル予防を目的とした地域の身近な活動の場・居場所の創出及び介護保険制度ではまかなうことができない多様な生活支援の体制整備のため、関係機関及びボランティア団体・民間企業・社会福祉法人などとネットワーク（協議体）を構築し、地域の課題・ニーズの把握、取り組みについて協議した。令和3年度より配置した「第2層生活支援コーディネーター（日常生活圏域ごとに1名）」による、身近な生活支援・介護予防の充実に向けた支援強化に努めた。

（1）ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

① 地域資源等の把握及び一覧表等の整備

- ・高齢者を対象としたニーズ調査や地域資源の把握

② 第1層協議体会議の開催（ネットワークの構築）

- ・三師会をはじめとする関係機関、ボランティア、民生委員・老人クラブ、行政等が集まる「協議体会議」、議題等に応じた「ワーキング部会」を開催

③ 第2層協議体会議の開催（ネットワークの構築）

- ・地域福祉活動者、地域福祉活動コーディネーター、地域包括支援センター、健康サポート薬局、介護保険サービス事業者等が集まる「協議体会議」、議題等に応じた「ワーキング部会」を開催

（2）地域資源・サービスの開発等

① 地域資源・サービスの立上げ支援

- ・新たな地域資源・サービスの立上げ支援

② 地域資源・サービスの継続支援

- ・情報発信などを通して、活動の継続に向けた支援

③ 講座等の開催

- ・新たな担い手の発掘及び養成を目的とした講座等を開催

④ 活動の場の発掘・開発

- ・有効活用可能なスペースなどを発掘し、新たな地域資源として活用

（3）サービス実施情報の周知等

① 実施情報の周知等

- ・「西淀川区㊦に～よん参考書～コミュニティ情報編～」の改訂
- ・チラシなどを用いた効果的な啓発及び周知の充実

事業名	時期	内容
(1) ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築		
①地域資源等の把握及び一覧表等の整備	通年	新たな担い手の発掘及び養成を目的とした講座、身近な居場所・活動の場への参加者を対象にアンケート調査を実施 自立支援型ケアマネジメント検討会議でのニーズの把握 介護予防教室の参加者、地域活動（食事サービス・ふれあい喫茶）の参加者を対象に興味・関心がある活動についてヒアリングを実施 西淀川区⑩に～よん参考書～在宅医療・介護予習編～別冊こんなときどうする？お役立ち一覧の更新
②第1層協議体会議の開催（ネットワークの構築） ③第2層協議体会議の開催（ネットワークの構築）	通年	第1層協議体会議（2回） 第2層協議体会議（1回） いきいき・はつらつミーティング〔区全域〕（4回） いきいき・はつらつミーティング 〔西淀川区地域包括支援センター〕（2回） いきいき・はつらつミーティング 〔南西部地域包括支援センター〕（9回） 有効活用ネットワーク部会（3回） 在宅医療・介護連携推進区民啓発部会（6回）
(2) 地域資源・サービスの開発等		
①地域資源・サービスの立上げ支援	通年	新規立ち上げ支援（7か所） ※【趣味】：ふくふく虹色ガーデン、ふれあい麻雀クラブ2 ※【運動】：Let's Go! トレ塾百歳体操、 柏里地域百歳体操「柏里愛会」 ※【交流】：に～よんサロン、ふくふくうたごえ広場、畑活動
②地域資源・サービスの継続支援		既存資源の継続支援（14か所） ※【地域貢献】：エコキャップ分別ボランティア、 セレーナなとりエコキャップボランティア ※【趣味】：ふれあい麻雀クラブ、ふれあい健康麻雀、 ゆいま～る福ふれあい麻雀 ※【学習】：ユーアイゆうゆう広場ふれあいサロン、 ふくふく元気ファーム ※【交流】：いきいき・はつらつ脳トレチャレンジ！（チャレンジ2）、 さくらんぼの会、さざんかシニアカフェ、 パペポ寺子屋カフェ、リバーサイドふようふくみみ広場 ※【その他】：ききみみ会、ちょこっと♡助っ人ポイント制度
③講座等の開催	通年	担い手養成講座 ※畑の土づくり基礎講座 等
④活動の場の発掘・開発	通年	有効活用可能スペース ①福祉施設内のスペースの調整 ②マンションのスペース活用の相談

(3) サービス実施情報の周知等		
①実施情報の周知等	通年	・いきいき・はつらつニュースの発行（2回）※地域包括支援センターだより NN ニュース withTY と共同発行
		・西淀川区⑩に～よん参考書（コミュニティ情報編、認知症編）の改訂

5 生活困窮者自立相談支援事業

社会的孤立・経済的困窮により生活困難を抱える方々の早期把握と自立に向けた支援を株式会社アソウ・ヒューマニーセンターと共同体として取り組んだ。

(1) 相談窓口の運営

① 相談受付・提案（支援と解決につながる具体策の提案・紹介）

区役所生活自立相談・就労支援窓口より情報提供

事業名	時期	内容
相談受付・対応	通年	相談受付：2499 件（前年度 3220 件）
		家庭訪問・同行支援：87 回（前年度 64 回） 関係機関等訪問：4 回（前年度 4 回）
		就労支援プラン作成：24 件（前年度 31 件） （一般就労 19 名）

6 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業の窓口として、さまざまな生活課題を抱える人たちに対して支援を行った。特に、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活に困窮する方への特例貸付については、生活困窮者自立支援窓口と連携し、相談及び申請手続き等の支援を行った。

(1) 相談窓口の運営

① 生活福祉資金貸付事務事業の推進

- ・相談対応、貸付、民生委員・児童委員へのつなぎ、コロナウイルスの影響による生活支援貸付相談

事業名	時期	内容
生活資金等の相談受付・対応	通年	総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 ・電話：528 窓口：231 件申込書配付：58 件 申請数：54 件（教育 17 件・福祉 37 件）
		新型コロナウイルス感染症特例緊急小口・総合支援資金 ・電話：1223 件 窓口：1031 件 申込配付：178 件 申請数：351 件（総合 173 件：緊急小口 178 件） コロナ特例貸付申請は 9/30 にて終了

7 介護予防事業（なにわ元気塾）

地域の集会所などで、65 歳以上の方を対象に、生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図ることを目的に、外出の機会、地域の人との交流の機会を増やすなど、自立した活動的な生活を送っていただけるよう、感染予防対策をとり、事業を実施した。

（1）介護予防事業（なにわ元気塾）

① 介護予防教室（体操やレクリエーション、音楽、手工芸など）

事業名	時期	内容
介護予防教室 (なにわ元気塾)	通年	柏里 地域①：12 回・176 人（前年度 267 人） 柏里 地域②：12 回・128 人 野 里 地域：12 回・110 人（前年度 112 人） 歌 島 地域：12 回・218 人（前年度 248 人） 香 簀 地域：12 回・173 人（前年度 191 人） 竹 島 地域：12 回・75 人（前年度 81 人） 佃 地域：12 回・214 人（前年度 237 人） 大和田 地域：12 回・55 人（前年度 111 人） 千 舟 地域：12 回・146 人（前年度 113 人） 姫 里 地域：12 回・118 人（前年度 139 人） 姫島 地域①：12 回・91 人（前年度 110 人） 姫島 地域②：12 回・73 人（前年度 72 人） 福 地域：12 回・92 人（前年度 93 人） 大野百島地域：12 回・172 人（前年度 156 人） 川 北 地域：12 回・162 人（前年度 121 人） 出来島 地域：12 回・263 人（前年度 261 人） 合 計 192 回・2266 人（前年度 2312 人）

（個別開催を含む）

8 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送られるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理・預かりサービスを行った。

（１）あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）の推進

・福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理・証書等の預かりサービスを実施

事業名	時期	内容
あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）	通年	講師派遣・業務説明件数：30件（前年度0件） 内訳 研修会への講師派遣1件（前年度0件） 関係会議等での説明4件（前年度0件） 視察・見学での説明0件（前年度0件） その他事業説明 25件（前年度0件）
		サービス利用件数：72件（前年度78件） 内訳 認知症高齢者等28人 知的障がい者等22人 精神障がい者等22人 その他0人 契約締結件数：1件（前年度10件） 契約解約件数：7件（前年度11件） 初回相談受付件数：8件（前年度11件）
		相談延べ件数：5295件（前年度3684件） 電話・来所：認知症高齢者等1356件 知的障がい者等795件 精神障がい者等1276件 その他47件 訪問：認知症高齢者等708件 知的障がい者等450件 精神障がい者等652件 その他11件

9 地域包括支援センター事業

歌島中学校下と佃中学校下における地域包括支援センターとして、介護や福祉、保健、医療などのサービスが包括的かつ継続的に提供される「地域包括ケア」を支える中核機関としての役割を推進した。

※区内には、高齢者人口に沿って、2箇所の地域包括支援センターが大阪市からの委託を受け運営

※本会が運営する「西淀川区地域包括支援センター」は歌島・佃中学校下圏域を担当し、
社会福祉法人博陽会が運営する「西淀川区南西部地域包括支援センター」は淀・西淀中
学校下圏域を担当

(1) 包括的・重層的な相談支援強化

① 総合相談支援

ご本人やその家族・親族の抱える多様な相談を受け止め、さまざまな社
会資源の活用を促すとともに、地域や関係機関（専門機関、行政等）との
連携に努めた。

② 権利擁護

高齢者の権利擁護のため、高齢者虐待対応や判断能力の不十分な認知症
の方などへ成年後見制度の活用を促し、高齢者への消費者トラブルや特殊
詐欺などへの注意喚起や被害防止に関する啓発に取り組んだ。

事業詳細	時期	内容
総合相談業務	通年	相談実人員：903 人（前年度 818 人） 内 認知症疑い有：178 人 訪問による相談実人員：410 人
		相談延べ件数：6,133 件（前年度 6,601 件） 内 訪問・出張：1,009 件 電話：4,679 件 来所：384 件、 その他：61 件
		相談内容 家族・家庭問題 129 件、経済・生活問題：835 件 介護サービス：2,243 件、介護予防サービス：1,136 件 介護予防・日常生活支援総合事業：37 件 福祉サービス：333 件、保健・医療サービス：622 件 虐待に関すること：234 件 成年後見制度の活用：114 件 生きがいづくり：30 件、その他：420 件
権利擁護	通年	高齢者虐待受理・対応件数 ・前年度より継続対応：3 件 ・令和 4 年度受理分：24 件
		成年後見制度申立て支援 ・前年度より継続対応：3 件 ・令和 4 年度受理分：9 件

		消費者被害防止のための取組み ・地域包括支援センターちらしに特殊詐欺記事を掲載 ・NN ニュース withTY に警察からの記事を掲載 ・エルちゃんのトラブルバイバイ♪ニュース（大阪市消費者センター）、見守り新鮮情報（国民生活センター）等の情報発信
--	--	---

（２）包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 介護支援専門員への支援

介護支援専門員からの個別相談に対する助言や支援ならびに、介護支援専門員へのスキルアップ研修の開催や情報提供による支援を行った。

② 多職種との連携・協働

個々の高齢者の状況変化に合わせたケアマネジメント実施のために、介護支援専門員、医療機関、介護サービス事業者、生活支援コーディネーター、在宅医療・介護連携支援コーディネーター等が円滑に連携できるよう、介護支援専門員同士のネットワーク構築、連携体制づくりに取り組んだ。

事業名	時期	内容
介護支援専門員の支援	通年	介護支援専門員からの個別相談：1,019 件（前年度 833 件）
		居宅介護支援事業者連絡会の開催支援 ・居宅介護支援事業者連絡会：6 回 ・居宅介護支援事業者運営委員会：7 回
		介護支援専門員への研修会（当センター主催） ・7 回（前年度 13 回） 「高齢者虐待防止のための研修会」
多職種との連携・協働	通年	専門機関・行政・地域等との連携 ・ネットワーク構築のための会議：168 回 ・地域との関係づくり：80 回

（３）地域ケア会議

① 地域ケア個別会議

さまざまな機関や職種の多様な視点で検討を行うことにより、個別ケースにおける課題解決に努めた。

② 自立支援型ケアマネジメント検討会議（小会議含む）

高齢者の自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援するための会議を開催した。

③ 地域課題整理のための地域ケア会議

地域ケア個別会議、自立支援型ケアマネジメント検討会議等で把握した個別課題・ニーズをまとめ、そこから見えてきた地域課題について多

職種・他職種、地域の方等で検討し、取りまとめた。

④ 振り返りのための地域ケア会議

高齢者支援の質の向上を目指すため、包括で支援したケースについて、関係機関とともに振り返り、課題の共有を図った。

事業名	時期	内容
個別ケース検討の 地域ケア会議	通 年	個別ケース検討：9回 事例検証・振り返り：1回
自立支援型 ケアマネジメント検討会議	通 年	12回（小会議含む）
地域課題整理のための 地域ケア会議	通 年	2回
振り返りのための 地域ケア会議	通 年	1回

（４）家族介護支援事業

① 家族介護者のつどいの場

家族介護者の悩みや情報交換の場を開催した。

② 介護への理解を深めるための啓発の推進

介護を行っている方、これから介護を担う可能性のある方等を対象に、介護の方法や、介護に備えるための情報を伝えるための講座を開催した。

事業名	時期	内容
家族介護者の つどいの場	毎月第2木曜日 (ひまわり) 毎月第3木曜日 (ひょうたん) 毎月第4金曜日 (さくらんぼ)	○「ひまわりの会」(家族介護者の会) 12回 延べ参加者 87人 ○「ひょうたんの会」(男性介護者の会) 12回 延べ参加者 37人 ○「さくらんぼの会」 (認知症当事者と家族が一緒につどう場) 12回 延べ参加者 230人
にしよど介護 予習スクール	①11月4日 ②11月17日 ③11月30日	「リハビリ専門職が教える住環境の整え方」 「かかりつけ薬局ってこんなところ！」 「健やかな皮膚を保つためのスキンケア」

（５）指定介護予防支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

要支援者等が、要介護状態となることを予防し、自立した生活を送ることができるよう、本人の意思を尊重し、生活の質の向上に資するサービスの提供、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みなどを支援した。

事業詳細	時期	内容
指定介護予防支援事業	通年	令和４年３月時のケアプラン作成：381件
介護予防ケアマネジメント	通年	令和４年３月時のケアプラン作成：199件

- ※ 介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス(訪問型サービス、通所型サービス)のみを利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ 指定介護予防支援事業は、介護予防サービス(訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、福祉用具貸与等)を利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ ケアプラン作成数は、給付管理数を記載

１０ 通所介護事業（デイサービス）

令和２年５月７日より休止

令和５年５月１日付で事業廃止

１１ 老人福祉センター事業

高齢者の各種相談に応じ、高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、地域への福祉活動を支援することを目的として管理運営をおこなった。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、大阪市の指針によりセンター事業およびサークル活動については、一部中止または定員制限のうえ実施した。

（１）西淀川区老人福祉センターの管理運営

① 生きがいがづくりへの支援

- ・高齢者のＱＯＬ（quality of life）を向上させるための「安心できる居場所」を提供し、「生きがいを持った暮らし」の場づくりとしてセンターを活用いただいた。

② 健康づくりへの取り組み

- ・介護予防・健康づくりに取り組む地域づくりとして、「なにわ元気塾」事業が実施され、当センターも共催。「おとなのてらこや」の開催、「いきいき百歳体操」の普及促進などに取り組んだ。

③ 世代間交流の促進

- ・高齢者と子どもたちを含む地域住民との触れ合いの中で、高齢者に地域の担い手としての「生きがい」「喜び」を感じていただくことに努めた。

④ 老人クラブ活動の支援

- ・区老人クラブ連合会の事務局と連携し、区老人クラブ連合会の活動を支援した。

事業詳細	時期	内 容
センターの運営	通年	・延利用人数：16,247 名（令和 4 年度：9,386 名） ・登 録 者 数： 358 名 ・総合満足度：94%
生きがいづくり への支援	通年	講座・イベント活動：83 回／1,060 名 （手作り・ぬりえ・紙バンド教室、終活セミナー、 苔テラリウムなど）
	通年	サークル活動：5,898 名 （編物・生花・歌体操・水彩画・カメラ・習字・ペン 習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・ 太極拳・リズム体操・3B 体操・フラダンスなど） 11 月から活動を再開したサークル：4 つ （カラオケ①、②、いちようカラオケ①、②） 解散したサークル：3 つ （たのしい歌広場、コーラス、詩吟）
	通年	新型コロナウイルス感染症対策による活動中止事業 （お楽しみ会、年忘れお楽しみ会など）
健康づくりへの 取り組み	通年	「いきいき百歳体操」：98 回／1,194 名 「P P K 体操」：12 回／240 名 「おとなのてらこや（認知症予防）」：16 回／234 名 「すこやか健康体操」：6 回／120 名 「歯科講演会」：1 回／20 名
世代間交流 の促進	通年	「に～よん文庫」：44 回／239 名 「ふれあいフェスティバル（作品展）」の開催 ：2 日間／137 名 新型コロナウイルス感染症対策による活動中止事業 （こども囲碁教室、年忘れお楽しみ会、町たんけん）
老人クラブ活動 の支援	通年	区老人クラブ連合会事務局との連携 「区民まつり」「ふれあいフェスティバル(作品展)」 「健康の集い」「いきいき講演会」「女性部民謡」など の活動支援

1 2 子育て活動支援事業

「西淀川区子ども・子育てプラザ」の管理運営と、「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）」などを通じて、乳幼児期の親子、子育て支援関係者や子どもたちが集い交流する機会を提供するなど、子育て世帯や子ども達の支援を展開した。

（１）大阪市子育て活動支援事業

- ① 子育て情報の収集、管理、提供（区内子育て支援情報誌の発行協力、ホームページの更新、「プラザイベント情報紙」の発行など）
- ② 地域の自主的な子育て活動支援（運営面での助言・場所の提供・「保育ボランティアセミナー」の開催）
- ③ 子育て中の親子の支援（子育て支援講座や学べる機会を提供）
- ④ 児童の健全育成（自由な遊びの機会・ふれあいの機会の提供、出前講座）
- ⑤ 地域関連・その他（「に～よん文庫」、「多文化交流」など）

事業詳細	時期	内容
プラザ（全体）	通年	開設日数：305 日（前年度 305 日） 利用者数：17,710 人（前年度 11,608 人）
登録者数（全体）	通年	乳幼児：651 人、小学生以上：193 人 合計：844 人（前年度 1,244 人）
	通年	子育てサークル： 0 団体 一般グループ： 5 団体 大阪市利用団体： 1 団体
ホームページ	通年	「にしよどこそだてほっとえーる」随時更新
プラザイベント情報紙	通年	プラザイベント情報紙の発行：97,250 部
子育て活動支援事業	通年	開設日数：305 日（前年度 305 日）
自主的な活動支援	通年	ボランティア講座、サロン等への支援：366 人
子育て中の親子支援	通年	＜遊び場の開放・講座＞223 回・3,412 人 （ベビーマッサージ&ベビーヨガ、リユースフェア、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、健康なんでも相談会など）

児童健全育成	通年	<自由あそび>305日・2,019人 <体験活動等>19回・157人 (1ねんせいかんげい会、プラ板づくり、ピタゴラススイッチに挑戦！小学生からのハロウィン、なぞとき脱出ゲームなど)
地域関連	8月13日 3月4日	多文化交流会、ファミリー広場：334人
区事業	通年	えほん展、に～よん文庫：76回・1,568人
一般利用	通年	利用回数：133回・1,149人

(2) 大阪市ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）の推進

- ① ファミリー・サポート・センター事業の推進（子育て援助を行いたい人と援助を受けたい人をコーディネートするなど）

事業詳細	時期	内容
ファミリー・サポート・センター	通年	開設日数：305日（前年度305日）
会員状況	通年	依頼会員：78人、提供会員：31人、両方会員：12人、ペア数：93組、活動件数：411件
サブリーダー会議	5月13日 6月22日 9月27日 12月28日 3月10日	「学習会、交流会について」、「ファミサポ通信の内容について」など5回：15人
交流会・学習会	7月9日 10月15日 1月14日	「普通救命講習Ⅲ」「えほんの読み聞かせ」「子どもと一緒に収納」など5回：47人
会報の発行	年4回	ファミサポ通信：534部

(3) 大阪市地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

- ① 子育て親子の交流の場の提供（「つどいの広場」の実施）
- ② 子育て相談（日常的な相談、子育て支援室や関係機関との連携を強化）
- ③ 子育て支援に関する講習（川北・竹島・出来島での「ミニつどいの広場」の実施、子育て支援情報の提供、「子育て支援講座」や「お誕生日かい」の開催）
- ④ ブックスタートの実施

事業詳細	時期	内容
つどいの広場	通年（週 5 日）	開設日数：247 日（前年度 247 日） 利用者数：7,290 人（前年度 5,554 人）
相談と援助	通年	相談件数：362 件（前年度 513 件）
子育て支援講習	通年	ミニつどい等 51 回、参加者数：443 人
ブックスタート	通年	プラザ・川北地域・竹島地域・出来島地域・ 各サロン 実施回数：56 回、参加者数：170 人